

# 略年表

\*年齢は数え年。二代氏綱以降は家督継承後の事績等を記載

和暦	西暦	年 齢	事 跡
文明一五	一四八三	宗瑞28	一〇月…將軍足利義尚の申次に加えられる。
文明一八	一四八六	宗瑞31	十一月…京都より駿河に下り、小鹿範満を討って今川家家督に甥に当たる氏親を据える。
明応二	一四九三	宗瑞38	この年…伊豆に侵攻し、堀越公方足利茶々丸を攻めて敗走させる。その後葦山城に入る。
明応七	一四九八	宗瑞43	八月…伊豆深根城を落とし伊豆を平定する。足利茶々丸は自害。
文亀元	一五〇一	宗瑞46	三月…相模上千葉を伊豆山に寄進する（これ以前に小田原城を入手）。
永正九	一五一二	宗瑞57	八月…三浦道寸の拠る相模岡崎城を落とし、鎌倉に入る。
永正一三	一五一六	宗瑞61	七月…相模新井城に三浦道寸・義意父子を討ち、相模を平定する。
永正一四	一五一七	宗瑞62	七月頃…小弓公方足利義明を支持する立場にたつ。
永正一五	一五一八	宗瑞63・氏綱32	九月頃…氏綱が家督を継承し、小田原城が本拠と位置づけられる。
永正一六	一五一九	宗瑞64・氏綱33	八月…宗瑞死去。
大永三	一五二三	氏綱37	六〇九月…「伊勢」から「北条」に改称する。
大永四	一五二四	氏綱38	正月…扇谷上杉朝興の拠点、武蔵江戸城を攻略する。
天文元	一五三二	氏綱46	五月…鶴岡八幡宮の造営に着手する。

和暦	西暦	年 齡	事 跡
天文六	一五三七	氏綱51	二月・駿河河東に侵攻する。六月・武蔵河越城を攻略する。
天文七	一五三八	氏綱52	一〇月・下総相模台で足利義明を討つ（第一次国府台合戦）。次いで古河公方足利晴氏から関東管領の内命を受ける。
天文一〇	一五四一	氏綱55・氏康27	七月・氏綱死去。氏康が継ぐ。
天文一三	一五四四	氏康30	正月・武田信玄と盟約する。
天文一五	一五四六	氏康32	四月・武蔵河越城で山内上杉憲政らを破る（河越合戦）。
天文二一	一五五二	氏康38	三月・上野平井城を攻略する。一二月・甥の足利義氏を古河公方に据える。
天文二三	一五五四	氏康40	七月・今川義元と盟約し、甲相駿三国同盟が成る。
永禄三	一五六〇	氏康46・氏政22	初頭・氏康が退隠し、氏政が家督を継ぐ。
永禄四	一五六一	氏康47・氏政23	三月・上杉謙信が小田原城を包囲する。
永禄七	一五六四	氏康50・氏政26	正月・下総国府台で上杉謙信と結ぶ里見義堯を破る（第二次国府台合戦）。
永禄九	一五六六	氏康52・氏政28	初頭・氏康が出馬を停止する。
永禄一二	一五六九	氏康55・氏政31	五月・武田信玄と断ち、上杉謙信と盟約する。一〇月・信玄が小田原城を包囲する。
元亀二	一五七一	氏康57・氏政33	一〇月・氏康死去。一二月・氏政が信玄との盟約を復活させる。
天正七	一五七九	氏政41	九月・武田勝頼と断ち、徳川家康と結ぶ。
天正八	一五八〇	氏政42・氏直19	三月・織田信長に属す。八月・氏政が退隠し氏直が家督を継ぐ。
天正一〇	一五八二	氏政44・氏直21	三月・織田信長の武田攻めに加わる。六月・信長の旧領上野・信濃・甲斐に侵攻する。一〇月・徳川家康と講和し、上野を確保する。
天正一二	一五八四	氏政46・氏直23	四・七月・豊臣秀吉と結ぶ佐竹義昭らと、下野沼尻などで対陣する（沼尻合戦）。
天正一三	一五八五	氏政47・氏直24	閏八月・徳川家康と連携し、上野沼田城に真田昌幸を攻める。
天正一四	一五八六	氏政48・氏直25	三月・氏政が伊豆三島で徳川家康と会談する。一〇月・家康が豊臣秀吉に臣従する。十一月・秀吉が関東「惣無事」を徳川家康に委ねる。一二月・秀吉の関東出陣の報が伝わり、臨戦体制をとる。
天正一六	一五八八	氏政50・氏直27	八月・氏規が上洛し、聚楽第で豊臣秀吉に臣従の意を示す。
天正一七	一五八九	氏政51・氏直28	二月・板部岡融成が上洛し、秀吉に沼田領問題の経緯を説明する。六月・氏直が氏政の上洛を約する。七月・沼田領の三分二が北条氏に引き渡される。十一月・北条軍が名胡桃城に入る。秀吉が氏直討伐の意向を表明する。
天正一八	一五九〇	氏政52・氏直29	四月・豊臣軍が小田原城を包囲する。七月・氏直が秀吉に投降し、小田原は開城する。氏政は切腹し、氏直は高野山へ追放となる。